

高校入試の点数伸ばせ

北秋田市製造業者ら 受験生にバター餅贈呈



北秋田市のバター餅製造業者らでつくる日本バター餅協会（湊屋啓二会長）は9日、高校入試で点数が餅のように伸びるよう、市内4中学校の3年生196人に合格の願いを込めたバター餅を贈った。

包装に桜の花びらの模様と「祈合格 点のび〜る」とメッセージを入れた。市内の4業者が製造し、鷹巣神社で合格祈願した。

鷹巣中学校で行われた贈呈式で、湊屋会長が生徒代表の神成瑛太さんに手渡し「御利益のあるバター餅を食べ、点数を伸ばしてほしい。全員志望校に合格できるよう応援している」と呼びかけた。

激励を受けた岩川心春さんは「試験日まで苦手教科を重点的に勉強し、粘り強く頑張って合格を勝ち取りたい」と話した。（石塚佳治）



（令和5年2月10日(金)秋田魁新聞より一部抜粋）